

# 長岡霊園

## 北代砂層

呉羽山山頂から長岡霊園の南側に抜ける道路沿いには、北代砂層と呼ばれる砂層が見られます。この砂層には、米粒大の白い固まりが見られます。これは、軽石片です。また、この砂をわんがけして洗ったものを実体顕微鏡で見ると、火山ガラスと呼ばれる火山噴出物を見ることができます。このことから、北代砂層の堆積した時代、火山活動が盛んであったことが想像できます。



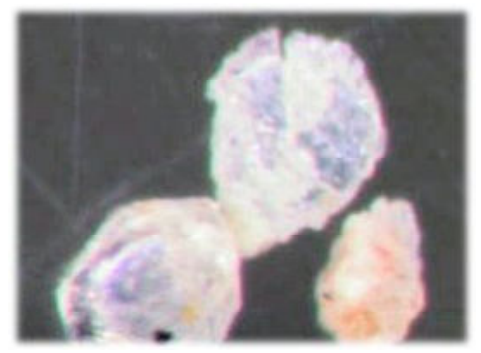
この北代砂層は、北陸線以北の台地の表層にあり、呉羽台地より高いところにあります。呉羽台地ができた後も呉羽山が隆起していることを示しています。



北代砂岩層の露頭



砂層内の軽石片



火山ガラス

## 呉羽山断層

呉羽山の東側には、「呉羽山断層」と呼ばれる活断層があります。この断層は神通川の東側、奥田地区を通り東富山駅付近からさらに富山湾へと伸びているのではないかと考えられています。呉羽山断層は、富山平野に隆起帯があることを示す断層です。また、呉羽山の西側には、「友坂断層」があります。

